

フロントフォークインナー KIT [40mm ダウン]		商品コード	499-0411100
適合車種	アクシストリート (41D)		
備考	スプリングはノーマル長の為、スプリングだけではローダウン化は出来ません。		

●この度はキタコ製品をお買い求め頂き誠に有り難うございます。説明文を良く理解して正しい取付を行って下さい。

■製品、装着についての注意 (必ずお読み下さい)

- このパーツはレース専用部品となります。組み込んだ車両での一般公道走行は出来ません。組み立てミス、セッティング不良等による事故、パーツの破損等については全て本人の責任とし、当社は一切の責任を負いませんのでご了承下さい。
- 組み付け及び、セッティング作業は必ず整備士資格のある方が行って下さい。また周辺部品の役割等が理解できない方は必ず、専門店の担当者又は、当社までご相談下さい。
- 組み付け不良等によるパーツの破損、それに伴う事故等については、全て運転者本人の責任とし、当社は一切の責任を負いませんのでご了承下さい。
- 装着後、ノーマルフロントフォークと比べ、操縦安定性が変わりますので、慎重な運転を心がけて下さい。また本製品はドレスアップ性を重視している為、ギャップの多い路面やダート走行はお控え下さい。
- 取付の際、必ず車種ごとのメーカーサービスマニュアルと合わせて取付作業を進めて下さい。
- エンジンの振動により、ボルト、ナット類が緩む可能性があります。走行前には必ず、各部のボルト、ナット類の締め具合を確認して下さい。
- 記載されていない追加加工や改造はしないで下さい。破損、事故の原因にもなります。

取付参考手順

※KIT 付属品以外のパーツはノーマルパーツを使用しますが、摩耗、損傷が激しい場合はサービスマニュアルに従って新品と交換して下さい。
●前輪が浮くように車体をジャッキアップさせ、倒れない様に固定し、アクスルシャフトを外してフロントホイール、フロントブレーキキャリアを取り外します。

●フォークアンダーブリッジの割締めボルトをゆるめ、ノーマルフロントフォークを下方に取り外します。

- 1) フォークキャップを外しフォークスプリングを取り外します。
- 2) フォークチューブを数回伸縮させてフォークオイルを抜き取ります。
※フォークスプリングのみ交換の場合は「フォークオイルの注入」から残りの作業を進めて下さい。
- 3) ノーマルフロントフォークのボトムケースをバイスに固定し、フォークソケットボルトとシーリングワッシャを取り外します。(フォークソケットボルトと共にシートパイプが回ってボルトが外れない場合、フォークチューブにノーマルパーツ A～C を仮付けしてボルトを取り外します)
- 4) ノーマルボトムケースからフォークチューブを抜き取ります。
- 5) ボトムケース側にあるオイルシール・クリップを取り外して点検を行い、摩耗、損傷の激しい場合は新品と交換して下さい。

●当社製シートパイプを図のように取り付けます。

- 1) シートパイプにリバウンドスプリングを取り付けます。
- 2) シートパイプを、フォークチューブに差し込み、オイルロックピースをシートパイプの先端に取り付けます。
- 3) フォークチューブをボトムケースに取り付けます。
- 4) ノーマルフロントフォークのボトムケースをバイスに固定し、フォークソケットボルトとシーリングワッシャを取り付けます。(トルク：30N・m/3.0kgf・m)
※ネジロック剤塗布 (ボルトが締らない場合、取り外し時と同じ要領でボルトを締め付けます)

●オイルシールは専用工具を使用して、ボトムケースに取り付けます。

- 1) フォークチューブにオイルシールを通し、ボトムケースにセットします。(この時、オイルシールを損傷させない為にフォークチューブ先端にビニールテープを巻きます)
- 2) 新品のオイルシールのリップ部にシリコングリスを塗布し、マーク側を上に向けてフォークチューブに取り付けます。
オイルシールをクリップの取り付け溝の見える位置まで専用工具でボトムケースに打ち込みます。
(専用工具：フォークシールドドライバウエイト・ドライバアタッチメント)
- 3) オイルシールクリップをボトムケースの溝に取り付け、新品のダストシールのリップ部にグリスを塗布し、ボトムケースに取り付けます。
(オイルシールクリップ装着時、フォークチューブ摺動面を傷つけない様に注意して下さい)

●フォークオイルを規定量注入し、組み付けて下さい。(フォークチューブを数回静かに伸縮させ、混入しているエアを抜いて下さい)

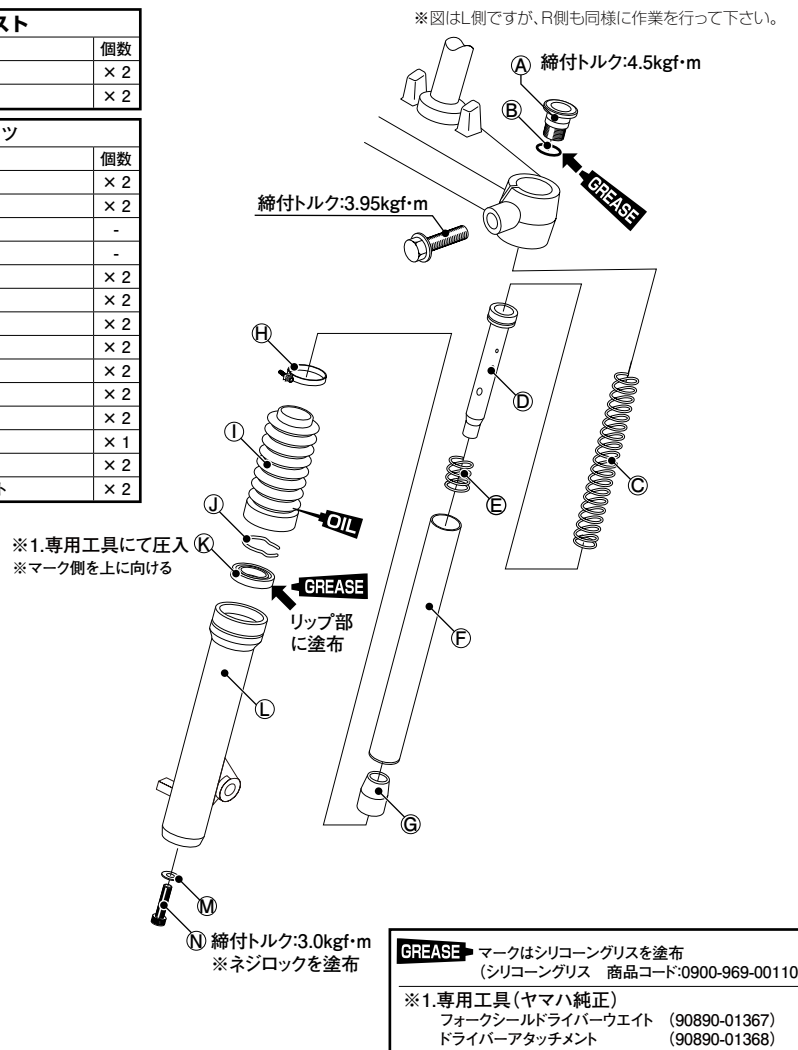
- 1) フォークチューブを一杯に縮めた状態にし、オイル面が安定してからオイルレベルを測定します。
(参考オイルレベル：30～50mm スプリング無し/圧縮時)
- 2) フォークチューブを一杯に伸ばした状態で当社製フォークスプリングをフォークチューブ内に取り付けます。
- 3) フォークキャップの溝にO-リングを取り付け、フォークチューブに装着して下さい。(O-リングにグリス塗布)

●フロントフォークをアンダーブリッジに取り付けます。

- 1) フォークキャップがアンダーブリッジに突き当たるまで差し込みます。フォークキャップを規定トルクで締め付けます。
(トルク：45N・m/4.5kgf・m)
※フォークアンダーブリッジの割締めボルトを仮締めした状態でフォークキャップを締め付けます。
- 2) フロントフォークの突き出し量が適正か、左右のずれ、歪み等がないか確認し、割締めボルトを締め込みます。(トルク：39.5N・m/3.95kgf・m)
- 3) フロントブレーキキャリア、フロントホイールを組み込んで各部がたつきがないか確認し、ブレーキホースを接続して外したパーツを装着します。
- 4) 走行に支障がないか良く確認してから走行して下さい。

バックングリスト		
図記号	パーツ名	個数
C	フォークスプリング	× 2
D	シートパイプ	× 2

ノーマルパーツ		
図記号	パーツ名	個数
A	フォークキャップ	× 2
B	Oリング	× 2
C	-	-
D	-	-
E	リバウンドスプリング	× 2
F	フォークチューブ	× 2
G	オイルロックピース	× 2
H	バンド	× 2
I	フォークブーツ	× 2
J	オイルシールクリップ	× 2
K	オイルシール	× 2
L	ボトムケース (L)	× 1
M	シーリングワッシャ	× 2
N	フォークソケットボルト	× 2



GREASE マークはシリコングリスを塗布 (シリコングリス 商品コード:0900-969-00110)

※1.専用工具 (ヤマハ純正)
 フォークシールドドライバウエイト (90890-01367)
 ドライバアタッチメント (90890-01368)

フォークオイルレベルの調整

推奨フォークオイルをフォークチューブ内に注入します。
●推奨オイル：オイル粘度#15(夏季) #10(冬季)
 オイルレベルを安定させる為、スプリングなしの状態ではフォークチューブを数回静かに伸縮させ、混入しているエアを抜いて下さい。フォークチューブを一杯に圧縮し、オイル面が安定してからオイルレベルを測定します。
 (左右のオイルレベルが同じになるように調整すること)
●参考オイルレベル：30mm～50mm (スプリング無し/圧縮時)

■製品の保証について

●製造には万全を期していますが、万一当社の製造上の原因による品質不良がありました場合は同様、同数の新しい製品とお取り替え又は、無償修理致しますが、それに伴う、上記以外の故障、破損、事故等についてのパーツの代金、修理保証、整備費用等の代償はご容赦下さい。

100526

〒577-0015
 東大阪市長田 3-8-13
 TEL.06-6783-5311 (代)
 FAX.06-6782-0740

KITACO
 株式会社キタコ